



## ●株式会社 横田農園

所在地 丸亀市垂水町 2223 番地

業種 農業

事業概要 農業経営、農畜産物の生産販売ほか

従業員数 11人（男性6人、女性5人）

育児休業取得期間 R2年10月に5日間取得

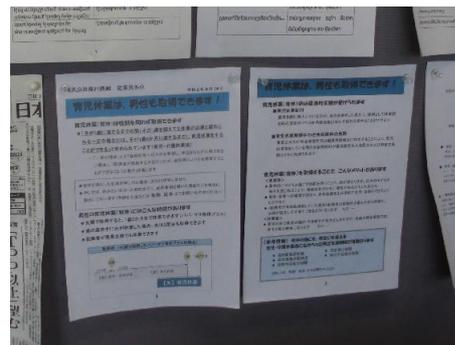
【今回のインタビューは、横田社長と育児休業を取得された須田さんにお話を伺いました】

### ○制度を知り、利用しようと思ったきっかけは

もともと女性従業員の育児休業制度はあったが、最近の社会の流れもあり、男性の育休を整備したとき、社労士からこの奨励金のことを教えてもらった。申請のハードルが低かったので、申請してみようと思った。

### ○今回、育児休業を取得した須田さんについて

私（社長）と彼（須田さん）しかできない作業がある。その作業は私が行い、他の従業員ができることはお願いして業務を分担した。事前に分かっていたら、5日間くらいなら仕事を抜けてもあまり問題ない。（でもそれ以上となると正直厳しい）彼の仕事は、重要な作業が多い。私でもできるが、彼の方が毎日やっているので、洗練されていて作業レベルが高く、技術が素晴らしい。休まれると大きな痛手であるが、従業員には幸せになってほしいので今回取得してもらった。



☞今回育休を取得した須田さん。  
会社入口の掲示板に男性育休のお知らせの張り紙もありました(背面)

### ○須田さんに育児休業の感想を伺いました

妻はカンボジア人で技能実習生として来日し、一緒に働いていた。妻は現在育休中である。家事育児は、カンボジアではほとんど女性がすることが多いそうだが、日ごろから夫婦で協力して行っている。今回2人目が生まれるということで、妻の入院中に上の子どもを見るために5日間の育休を取得したが、とても助かった。

## ○職場の雰囲気は

有給休暇は実習生も社員も男女問わず、定期的を取得しており、休みが取りやすい風土である。農業なので、夏の暑いときはどうしても体調が悪くなる。熱中症やと思ったら「休みや」と声をかけるし、自分から申し出てくる場合もある。また子どもがいる従業員は子どもの体調不良等で休まなければいけないことも多い。私自身も忙しいときは集中的に仕事をするが、暇になったら休む。それをみんな知っているので、休みやすいのではないかと思う。メリハリを持って仕事するように心がけている。

休みは年末年始のみで、それ以外はシフト制なので、全員揃うのは金曜のみで毎日誰かがいない状態である。誰か一人足りなくても、その他の従業員一人ひとりがいつもよりほんの少し頑張ればカバーできる。

「みんな頼むよ」と言えば聞いてくれるので、仕事が遅れることもあまりない。常にお互い様の気持ちをもって働いている。

## ○ワーク・ライフ・バランスの必要性についてどう思うか

希望した保育所になかなか入れず1年待った。子どもが0歳のとき、特に女性は眠れないし自分の時間がなかなか取れないので、大変な時期だと思う。少しでも預けることができれば楽になるのではないかな。

若い男性従業員がいるので、今後、育休が取得できる状況になれば制度を利用したい。

### (取材を終えての感想)

自然が相手であり、農作物は休みなしで管理が必要な厳しい仕事です。でもやるときはやる、休みが必要なときは休む、そのために従業員同士、お互い様で支えあっている雰囲気を非常に感じました。男性育休の取得をためらう大きな要因の1つに、「自分から言い出しにくい雰囲気」がありますが、横田農園ではそれが無いことが今回の取得につながったのだと思いました。

横田社長自身、男性の育休のことを知ったのは最近だそうです。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、実習生同士の交流や同業者と会う機会もあまりないとのことですが、コロナが落ち着き、今回の男性育休の取得事例が同業者にも広がれば、また新たな交流やワーク・ライフ・バランスの実現に向けての取り組みが進むのではないのでしょうか。